

2019年8月23日

各位

地域保健・医療・福祉活動研究会

会長 橋本真紀



第29回『地域保健・医療・福祉活動研究会』のご案内

拝啓

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は、研究会活動にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。

毎年定例となりました『地域保健・医療・福祉活動研究会』を開催いたしますのでご案内申し上げます。今回の研究会テーマは、「縦割りを越える保健師の施策化機能」といたしました。

ご多忙中とは存じますが、皆様お誘い合わせのうえご出席くださいますようお願い申し上げます。

敬具

記

➤ 対象者

自治体保健師をはじめとする、保健・医療・福祉にたずさわる方。

定員60名（参加費無料）

➤ 日時

2019年11月20日（水） 9:45 ～ 16:30（9:20より受付開始）

※例年、年度末に開催していましたが、今年度は開催時期を早めています

➤ 会場

岡山コンベンションセンター（岡山市北区駅元町14番1号 ママカリフォーラム）

<https://goo.gl/maps/v9R9yG9sPRDA2k4p8>

<電車>

JR 岡山駅中央改札口から徒歩約3分

<駐車場>

ママカリパーキング、リットパーキング

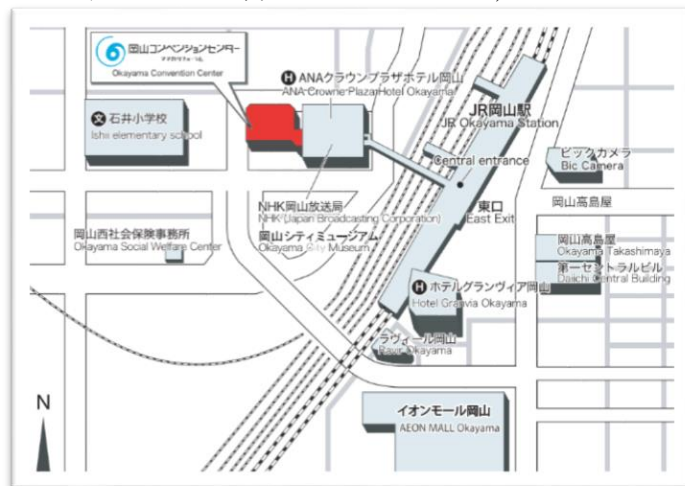
営業時間：24時間

料金：150円/30分

（昼間最大1,500円）

駐車場の詳細は以下をご参照ください。

<http://www.mamakari.net/facility/parking.php>



I. テーマ

縦割りを越える保健師の施策化機能

～～ 健康格差社会 “社会環境への介入”の実際 ～～

II. 企画の背景（保健師活動の現状と課題）

近年の研究会では“健康の社会的決定要因とその介入”、個人の行動変容に期待する保健指導といった従来型の介入手法から、社会環境そのものへの介入、“健康支援環境づくり”への転換が重要であることを学びました。

保健師活動指針には「地域診断に基づく PDCA サイクルの実施」「各種保健医療福祉計画の策定及び実施」など示されています。国の保健政策は多くが法制化され、地方自治体はそれをどのように具体化して実施するのか？首長から提示される政策課題をどのように具体化するのか？日々の保健師業務をこなしながら地域住民の生活実態からみえてきたことをどのように課題としてとらえ解決する過程をとるのか？前回の研究会ではその手法として“コミュニティーアセスメントモデル”について学びました。

実効ある施策を策定し、PDCA サイクルを実施するにはトップダウンとボトムアップの統合的思考が必要です。専門職の視点で調査し理論的に思考することで保健師の施策化機能が発揮されます。そのためには課題中心に統合する視点や行政の縦割りを突破し横断する部署間の調整、研究者とのコラボレーションが重要な鍵となるでしょう。

第 29 回研究会では「縦割りを越える保健師の施策化機能」について行政保健師馬場優子 氏を招聘し、その実際を講演戴き、これまでテーマとしてきた“人材育成”や“組織構造”の要素も視野に入れながら、皆さんと共に学びたいと企画いたしました。

III. 狙い

“保健師が行う施策化の実際を学ぶ”

1. 健康格差社会への処方箋として“社会環境への介入”の実際
2. トップダウンとボトムアップの統合的思考
3. 行政の縦割りを突破する方策

IV. プログラム

1. 講演 (120分)

足立区衛生部 参事

こころとからだの健康づくり課長 馬場 優子 氏

テーマ： 行政保健師の施策化プロセス

「住んでいるだけで自ずと健康になるまち

あだちベジタベライフ～そうだ、野菜を食べよう～」の実践

—— 保健福祉の枠を超えて繋がるために ——

2. グループワーク (120分)

講演からの気づきと質疑を含めて参加者相互に話し合い、講師を交えて討論します。

V. タイムスケジュール

時間	所要時間	内容	講師および担当
9:45～9:55	10分	開会あいさつ	研究会事務局
9:55～10:00	5分	テーマ設定の意図	研究会会長
10:00～12:00	120分	行政保健師の施策化プロセス 「住んでいるだけで自ずと健康になるまち あだちベジタベライフ～そうだ、野菜を 食べよう～」の実践 —— 保健福祉の枠を超えて繋がるために ——	馬場優子氏
12:00～13:00	60分	昼食（お弁当を用意しています）	
13:00～15:00	120分	グループワーク 講演からの気づきと質疑を含めて相互に話し合う（60分） ① どうすれば“社会環境への介入”へ思考転換できるか ② 日常業務から地域課題の施策化に繋げるにはどうすればいいか 地区担当保健師と業務担当保健師、それぞれがどんな役割・ 機能を発揮すればいいか ③ 縦割り行政の枠を超えるために必要なものは何か ④ 研究者とのコラボレーションはどうやれば可能か 講師を交えて総合討論（60分）	
15:00～15:15	15分	休憩	
15:15～16:15	60分	総括	研究会会長
16:15～16:30	15分	閉会のあいさつ（アンケート）	研究会事務局

お申し込み方法

研究会へのお申し込みは、以下のいずれかの方法でお申し込みください。
お申し込み受け付け後、5 営業日以内にご連絡いたします。

お申し込み受付：2019 年 10 月 31 日（木）まで

*受付期間終了後もお席に余裕がある場合は、お申し込みを承ります。

Web でのお申し込み

以下「健康かるてっと」の「研究会>イベント」よりお申し込みください。

https://quartet.ryobi.co.jp/kenkyu/on_event/



メールでのお申し込み 送信先：kenkyu@ryobi.co.jp

下記内容をご記入のうえ、メールで送信をお願いいたします。

1. 氏名（※必須）
2. カナ氏名（※必須）
3. 団体名（※必須）
4. 所属
5. メールアドレス（※必須）
6. 電話番号、FAX 番号
7. 職種（※必須）
8. 職種経験年数
9. 現在の日常実践活動の主な内容

FAX でのお申し込み 送信先 FAX：086-264-7322

別紙「研究会 FAX 申し込み用紙」にご記入のうえ、FAX で送信をお願いいたします。

ご提供いただく個人情報は、研究会のご案内、お問い合わせの回答に使用いたします。
個人情報を第三者に委託・開示・提供することはありません。

【お問い合わせ】

e-mail:kenkyu@ryobi.co.jp 電話:086-264-0137 FAX:086-264-7322

株式会社両備システムズ 社会保障事業部内 研究会事務局

※「団体名」「氏名」「カナ氏名」「e-mail アドレス」「職種」は必ずご記入ください

研究会 F A X 申し込み用紙

送信先:086-264-7322

宛先:地域保健・医療・福祉活動研究会事務局

2019年11月20日開催の、第29回地域保健・医療・福祉活動研究会へ申し込みます。

◇団体名※:

◇電話:

FAX:

1.氏名※: (カナ氏名※:)

2.e-mail※:

3.職種※:保健師・看護師・助産師・栄養士・社会福祉士・教育職・学生

その他 ()

4.職種経験年数: ()

5.現在の日常実践活動の主な内容:

[]

1.氏名※: (カナ氏名※:)

2.e-mail※:

3.職種※:保健師・看護師・助産師・栄養士・社会福祉士・教育職・学生

その他 ()

4.職種経験年数: ()

5.現在の日常実践活動の主な内容:

[]

1.氏名※: (カナ氏名※:)

2.e-mail※:

3.職種※:保健師・看護師・助産師・栄養士・社会福祉士・教育職・学生

その他 ()

4.職種経験年数: ()

5.現在の日常実践活動の主な内容:

[]

通信欄

ご送信いただく個人情報は、研究会のご案内、お問い合わせの回答に使用いたします。個人情報を第三者に委託・開示・提供することはありません。